

2020
7月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第191号-①【基準日 2020年6月30日】



🌸 社長メッセージ



資産運用をトータルでサポート



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大は依然として続いているようですが、今年も早いもので半年が過ぎ7月になりました。

国内では全国で緊急事態宣言が5月25日に解除されてから1ヶ月以上が過ぎ、学校や企業の経済活動もほとんど再開されてきましたが、新しい生活様式のもとではコロナ前の状態に戻るのにはかなりの時間がかかりそうです。

6月末時点で新型コロナウイルスの世界の感染者数は1000万人、死者数は50万人を突破しています。毎日世界で10万人以上が感染するパンデミック(世界的大流行)の収束の気配が見えない中で、経済活動再開を進めているので、米国をはじめとした欧米各国では第二波懸念が高まってきています。日本においても東京を中心に新規感染者数が日々増加してきており予断を許さない状況です。ワクチンや治療薬が開発されるまでの1~2年の間は、新しい生活様式のもと、「もしかしたら自分が感染しているかもしれない」と考えて、周りの人にうつさないようにする気遣いを皆が持ち、感染予防に努めながら新型コロナウイルスと上手に付き合っていきましょう。

マーケットは景気回復を先取りしてコロナ前の水準にV字回復

さて、先月の世界のマーケットは、経済活動再開による回復期待及び金融緩和による過剰流動性による株価上昇と感染第二波懸念の間で一喜一憂する展開の中、世界の株式市場は総じて上昇しました。ありがとうファンドは3.4%の上昇となり、コロナ前の水準までほぼ回復いたしました。

足元の経済指標や企業業績はロックダウンや緊急事態宣言で経済活動を止めていた影響で予想通り非常に悪いものが発表されています。IMF(国際通貨基金)は今年の世界経済の成長率見通しを4月時点よりも下方修正してマイナス4.9%にしました。国内においても6月の日銀短観がリーマンショック直後に次ぐ過去2番目の大幅な悪化を示しました。先行きについても製造業、非製造業ともに厳しく、新型コロナの世界的な感染拡大が収束しない限り、輸出やインバウンドの本格的な回復はすぐには望めず、失業率や有効求人倍率など雇用環境も悪化していく中で国内消費もV字回復は想定できず低迷がしばらく続くと思われます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

一方でマーケットでは各国政府・中央銀行による金融緩和マネーが株式市場を下支えしている中、半年先、一年先の業績回復を見込んで株価が上昇しています。

实体经济との乖離が広がる中では、コロナバブルの懸念も出てきており、今後の感染状況や景気動向によってマーケットは乱高下する可能性が大きくなり、引き続きボラティリティの高い相場動向が予想されます。

このような中で、短期的な相場動向や景気動向を予想してタイミングを見て機動的に高く売って安く買い戻していくことは簡単ではありませんし、仮に一度上手くいったとしても長期的に継続していくことは難しいでしょう。ヘッジファンドなどのプロでもマーケットタイミング戦略で長期的に継続して安定したパフォーマンスを上げるのが難しいことは過去の実績から明らかです。



世界経済は、足元、新型コロナウイルスの影響で大きくマイナス成長になりますが、中長期的には人口増加等による消費・生産の拡大により成長していくと予想されていますので、世界に幅広く国際分散して長期投資することによって世界経済の成長及び企業利益の成長のリターンの恩恵を享受することが期待できます。

短期的なマーケット動向に一喜一憂することなくコツコツと長期投資でバイ・アンド・ホールドして資産運用を継続していただくことが、皆さまの資産運用のゴールへの王道であると考えます。

ライフプランニングから資産運用、そして資産承継へ

資産運用で大切なことは、お客さまそれぞれの目標ゴールに向かって、長期・積立・国際分散投資を継続していくことです。弊社では、金融商品である「ありがとうファンド」を運用・直販するだけでなく、お客さまが目標に向かって資産運用を継続していけるように、お客様のライフプランニングのお手伝いや資産運用の個別相談に乗らせていただくことで、資産運用をトータルでサポートさせて頂ければと考えております。



現役世代の方には、老後資金のための資産形成プランだけでなく、住宅資金や教育資金も含めた人生3大資金のマネープランのご相談などにも乗らせて頂きます。

また、これから定年退職を迎えるリタイア期前後の方や年金生活に入られているシニア世代の方に対してはリタイアメントプラン・老後生活設計として、就労延長や資産運用を継続しながらの換金方法なども含めてご相談に乗らせて頂ければと思います。

リスク資産への程度配分するか、資産寿命を延ばしながら老後資産をどのように取崩していくか、使い切れない余裕資金を次の世代である子供や孫へどのように資産承継(生前贈与・相続)していけばよいかなど、お客様毎に個別に対応させて頂ければと考えております。

以上のように、お客様の資産運用をトータルでサポートさせて頂くために、弊社では資産寿命を延ばしながら、運用資産を年金のように計画的に取り崩して換金していく「[定期換金サービス](#)」や家計のキャッシュフロー・シミュレーションに基づく現状分析、老後資金の資産形成プランや資産取崩プラン、教育資金、住宅資金、万が一のときに必要な保険必要保障額のアドバイスや個別相談を行う「[FPサービス](#)」、相続や生前贈与、終活、法律問題に関する相談・対策の専門家を紹介する「[39コンシェルジュサービス](#)」を同業他社に先駆けて既にご用意しております。



現在のコロナ禍で先行きが不安な状況だからこそ、お客様が資産運用で迷われてゴールを見失うことのないようにしっかりと個別にサポートさせていただければと考えております。

また、個別資産運用相談につきましては、今後オンラインでの個別相談もできるように現在計画準備を進めているところです。詳細は決まり次第ホームページや月次レポート等でご案内させていただきます。

クオリティ・グロース企業を厳選して国際分散投資

弊社では、引き続き投資先ファンドを通じて、景気動向に大きく左右される景気敏感銘柄ではなく、コロナ禍でも業績を伸ばしていける景気変動の影響をあまり受けずに今後のメガトレンドに乗って利益成長していける強固なビジネスモデルを持ったクオリティの高い企業を厳選して国際分散投資していくことでリスクを抑えながら安定したパフォーマンスを目指して参ります。

厳選された投資先銘柄については、毎月「[ありがとうブログ](#)」の中でファンドマネージャーが紹介しておりますのでご興味ありましたら是非ご覧いただければ幸いです。(先月は「[BJ's Wholesale Club](#)」を取り上げています)

新型コロナウイルスの収束までにはしばらく時間がかかりそうですが、長期戦を覚悟して皆さまと乗り越えていけるように役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,119円	+5.73%
3年	18,227円	+5.11%
5年	17,048円	+12.38%
10年	12,733円	+50.46%
初回(2004年10月)から	11,634円	+64.67%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、10年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのわかるかと思います。

2020年6月30日現在(基準価額: 19,158円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 セミナーのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況などを鑑みて、お客さまの安全を最優先して当面の間、セミナーの開催を中止させていただきます。何卒ご理解、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

🌸 お電話フリーコール受付時間変更のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、弊社では役職員の時差通勤、在宅勤務を取り入れております。

つきましては、2020年4月6日(月)よりお電話フリーコール受付時間を10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)までに当面の間変更させていただきます。尚、電話受付時間以外については変更なく通常通り営業いたします。また、インターネットからの資料請求・お問合せ、マイページサービスについては24時間365日ご利用いただけます。何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【変更前】8:30～17:30(土日祝日、年末年始を除く)
↓
【変更後】10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)

🌸 ありがとうブログの更新のお知らせ

ありがとうブログでは資産運用に役立つ情報など定期的にご紹介しております。[\(https://www.39asset.co.jp/blog/\)](https://www.39asset.co.jp/blog/)
先月は、「投資・運用」カテゴリや39クッキングなどを更新しておりますので是非ご覧いただければ幸いです♪

【厳選銘柄紹介】



2020年06月22日(月)

倉庫型店舗で爆買いしようぜ！：
BJ's Wholesale Club

【ありがとうトピックス】



2020年06月30日(火)

10万円給付はフリーランチ？

【39クッキング】



2020年06月24日(水)

39クッキング【39的しじみ習慣♪
～】

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2020年 7月分	受付終了	受付終了	7月6日(月)	7月14日(火)	7月16日(木)
2020年 8月分	受付終了	7月27日(月)	8月6日(木)	8月17日(月)	8月19日(水)
2020年 9月分	8月5日(水)	8月26日(水)	9月7日(月)	9月15日(火)	9月17日(木)
2020年 10月分	9月3日(木)	9月24日(木)	10月6日(火)	10月14日(水)	10月16日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

7月	3日(金)	独立記念日	ニューヨーク証券取引所休業日
8月	-	-	-
9月	7日(月)	労働者の日	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。